

## 2021/2022 年米国トウモロコシ輸出貨物品質ウェビナー

### 講演者略歴



Kyle Gilliam

Manager of Global Strategies and Trade, U.S. Grains Council

カイル・ギリウム

アメリカ穀物協会 グローバルストラテジー・トレード担当マネージャー

カイル・C・ギリウムは、米国産の大麦、トウモロコシ、ソルガム、および関連製品の使用を世界中で促進するアメリカ穀物協会のグローバルストラテジー・トレード担当のマネージャーを務めている。また、協会の海外事務所の市場開発プログラムを支援することで統括し、貿易サービスの専門知識を提供し、米国および世界の貿易業者、世界の穀物協会の顧客やエンドユーザーとの関係を強化している。協会の前にはバージニア工科大学で農業教育の講師を務め、農業科学の教員認定プログラムを管理・監督するとともに、バージニア工科大学 FFA のアドバイザーを務めた。



John Greer

Nebraska Corn Board

ジョン・グリア

ネブラスカ州トウモロコシ委員会

ジョン・グリアは、ネブラスカ州トウモロコシ委員会第2地区の代表を務めている。ネブラスカ大学リンカーン大学を卒業し、農業教育の学位と、副専攻の動物科学を取得し、その後、ナコルズ郡北部の家族経営農場の第4世代として、灌漑利用しながらトウモロコシと大豆を栽培し、牛/子牛を飼育している。また、ダベンポート教育委員会、サウス・セントラル・キャトルメン理事会、ネブラスカ・キャトルメン理事会、4-H リーダーなど、リーダーとしての経験も豊富である。二人の娘は共に農業生産に関わっており、そのうちの一人、サラはエドガー地区に戻り、一家の農場を営む5代目である。



Dirk Rice

Illinois Corn Marketing Board

ダーク・ライス

イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会

ダーク・ライスは、イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会の元会長である。彼はシャンペーン郡フィロで5世代に渡って農業を営んで

いる。彼の家族は環境保全技術を早くから取り入れており、現在は部分耕起のトウモロコシと不耕起の大豆を栽培し農業を営んでいる。トウモロコシの一部と大豆のほぼすべてにライ麦の被覆作物を植えている。彼の農地はすべて精密保全管理および Field to Market に登録されている。



Gail Lierer  
Ohio corn growers  
ゲイル・ライアー  
オハイオ州トウモロコシ生産者

ゲイル・ライアーは、第 13 地区でオハイオ州のトウモロコシ生産者の代表を務めている。ライアーとその夫であるデイブはオハイオ州オケアナ（バトラー郡）で農業を営み、トウモロコシ、大豆、干し草を栽培し、小さな牛の飼育も行っている。農業以外では、自身の保険事業を通じて、4つの州で農家が必要とする作物保険をサポートしている。ライアーはオハイオ州トウモロコシ・マーケティング・プログラムの元会長である。ライアーは全米トウモロコシ生産者協会のリーダーで、アクションチームのメンバーとして活躍している。また、農業サービス機関、バトラー郡農業局、オハイオ州農業局、オハイオ州アグリウーマン、FFA 同窓会で指導的役割を担ってきた。



Dr. Frayne Olson  
Crop Economist/Marketing Specialist  
North Dakota State University E  
ND Agricultural Experiment Station  
Dept. of Agribusiness & Applied Economics

フレイン・オルソン博士  
農産物エコノミスト/マーケティングスペシャリスト  
ノースダコタ州立大学公開講座  
ノースダコタ農業試験所 アグリビジネス・応用経済学部